



令和7年6月30日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

特別展「氷河期展 ～人類が見た4万年前の世界～」

報道内覧会のご案内

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）では、令和7年7月12日（土）～10月13日（月・祝）まで、特別展「氷河期展 ～人類が見た4万年前の世界～」を開催いたします。

ついては、開幕に先立ちまして令和7年7月11日（金）に特別展「氷河期展 ～人類が見た4万年前の世界～」報道内覧会を開催いたします。ぜひこの機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、別添資料をご覧ください。

特別展「氷河期展 ～人類が見た4万年前の世界～」報道内覧会

【日時】令和7年7月11日（金）（受付開始 12:30 / 受付終了 13:00）

13:00～ 総合監修者挨拶・監修者紹介・フォトセッション

14:30 報道内覧会終了

【会場】国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室（東京・上野公園）

※受付は国立科学博物館常設展入口

特別展「氷河期展 ～人類が見た4万年前の世界～」

【会期】令和7年7月12日（土）から10月13日（月・祝）

【会場】国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室（東京・上野公園）

【主催】国立科学博物館、TBS、TBS グロウディア、東京新聞

<本件担当者>

独立行政法人国立科学博物館

展示部企画展示課（特別展担当）

大橋、高山、渡邊、佐藤

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL : 03-3822-0111 FAX : 03-5814-9898

<取材に関するお問い合わせ先>

特別展「氷河期展 ～人類が見た4万年前の世界～」

広報事務局（株式会社シオン）

担当：田中

TEL : 03-6416-0546 FAX: 03-6416-0547

E-mail : hyogakiten@sion-group.com

特別展「氷河期展 ～人類が見た 4 万年前の世界～」

報道内覧会のご案内

報道内覧会日時：2025 年 7 月 11 日（金）13:00～14:30（受付開始 12:30～）

報道内覧会会場：国立科学博物館 地球館地下 1 階 特別展示室（東京・上野公園）

※事前申し込み必須

このたび、2025 年 7 月 12 日（土）から 2025 年 10 月 13 日（月・祝）まで、国立科学博物館にて特別展「氷河期展 ～人類が見た 4 万年前の世界～」を開催する運びとなりました。

本展では、パリ国立自然史博物館（フランス）からやってきた日本初公開となるネアンデルタール人とクロマニヨン人の実物の頭骨をはじめ、ライス・エンゲルホルン博物館(ドイツ)が所蔵するヨーロッパの絶滅動物の骨格標本や生体復元模型、さらに日本各地の考古資料の展示などを通じて、氷河期における人類と動物の暮らしや環境の変化を紹介します。

つきましては、本展の開催に先立ちまして、**7 月 11 日(金)13:00 より、報道内覧会を開催いたします。**当日は、本展監修者による概要説明のほか、本展アンバサダーである**あばれる君のフォトセッション、囲み取材を予定しております。**

下記概要にて開催致しますので、ご多忙かと存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。



【特別展「氷河期展 ～人類が見た 4 万年前の世界～」報道内覧会】

■日時／2025 年 7 月 11 日（金）：13:00～14:30（受付開始 12:30～13:00）

■会場／国立科学博物館 **地球館 地下 1 階 特別展示室**（東京都台東区上野公園 7-20）

■スケジュール／

13:00～14:30 報道内覧会

※13:10～13:30 アンバサダー **あばれる君**のフォトセッションと囲み取材を地球館 地下 1 階 特別展示室にて行います。

※開会式は 15:00～15:30(受付 14:30～15:00)に日本館 2 階講堂にて開催いたします。開会式のご取材も可能です。



本展アンバサダー
あばれる君

【注意事項】

※本内覧会、開会式は事前申込制となります。ご出席くださる場合には必ず事前にお申込みください。申込みなくご来館された場合は、入館をお断りさせていただく場合がございます。

※各媒体で放送やご掲載いただく際には、**展覧会名・会期・会場の告知**をお願いいたします。

※本内覧会、開会式で撮影した写真や取材した情報の使用は本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。それ以外のご使用はご遠慮ください。

※展示室内の撮影は三脚・脚立・照明の使用は不可となります。当日配布します「撮影注意事項」を遵守いただきますようお願い申し上げます。

※本内覧会終了後、開会式実施時間中は特別展会場内に您在室いただけません。

特別展「氷河期展」の見どころ

4 万年前の氷河期にタイムスリップ！

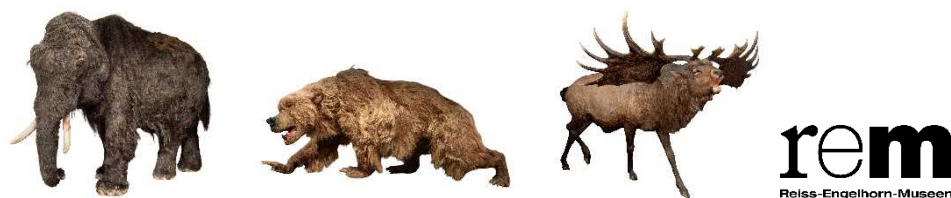
現代よりもはるかに寒冷だった 4 万年前の氷河期は、人類や、マンモスなどの巨大な動物たちが共に生きていた時代です。彼らの中には、絶滅したものもいれば、生き残ったものもあります。

本展では、この時代を生きた動物たちや人類について解説し、その命運を分けた氷河期の謎に迫ります。

注目は、日本初公開となるネアンデルタール人とクロマニヨン人の実物の頭骨。そして氷河期を生きた巨大動物たちの大きさを、会場で是非体感してください！

第1章 氷河期 ヨーロッパの動物

氷河期のヨーロッパ北部は氷床に覆われ、中央部に乾燥した草原地帯が広がり、「氷河期のメガファウナ（巨大動物群）」と呼ばれる大型の動物たちが君臨していました。過酷な環境を生きた巨大動物とは一体どんな生物だったのでしょうか。そして、彼らの中で何が絶滅して、何が現代まで生き残ったのでしょうか。



左から《ケナガマンモス 生体復元模型》《ホラアナグマ 生体復元模型》《ギガンテウスオオツノジカ 生体復元模型》
ライス・エンゲルホルン博物館所蔵

第2章 ネアンデルタール人とクロマニヨン人

氷河期を生きたネアンデルタール人とクロマニヨン人（ホモ・サピエンス）。その実物の頭骨が日本初上陸します。ネアンデルタール人はがっしりした体格と強靱な筋肉を持っていたのに対し、クロマニヨン人は比較的ほっそりした体格に長い手足を持っていました。同じ時代を生きていた両者。しかし 4 万年前までにネアンデルタール人は姿を消します。一体何が両者の命運を分けたのでしょうか。



© MNHN © MNHN – JCDomenech

左から《ラ・フェラシー 1 号(ネアンデルタール人)》《クロマニヨン 1 号(クロマニヨン人)》 パリ国立自然史博物館所蔵

第3章 氷河期の日本列島

南北に長く、多様な環境が広がっている日本列島。人類は最終氷期、約 3 万 8 千年前までには日本にわたってきたと考えられています。当時を生きた日本三大絶滅動物（ナウマンゾウ、ヤベオオツノジカ、ハナイズミモリウシ）などの動物たち、そして氷河期の日本列島での人類の暮らしはどのようなものだったのでしょうか。

【特別展「氷河期展」報道内覧会 参加申込書】

E-mail : hyogakiten@sion-group.com

■**受付**／国立科学博物館 日本館 正面 B1 階入り口付近
■**アクセス**／JR「上野」駅（公園口）から徒歩 5 分
銀座線・日比谷線「上野」駅（7 番出口）から徒歩 10 分
京成線「京成上野」駅（正面口）から徒歩 10 分
※敷地内に駐車場および駐輪場はありません。



ご出欠	☐ 報道内覧会 ご出席（13:00～14:30） （スチール / ムービー / 撮影なし） ☐ 開会式 ご出席（15:00～15:30） （スチール / ムービー / 撮影なし）		
貴社名			
部署名			
貴紙／誌名			
お名前	（合計 名）		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		
ご掲載予定日	月	日	（ 号）掲載／アップ予定
連絡欄			

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目3番17号 MOMENTO SHIODOME 3階